

雑談が下手な人は、話題を広げるしかできない。

雑談が上手な人は、話題を広げるだけでなく、深めることもできる。

話題の話し方には、2種類あります。

(1)広げる

(2)深める

どちらもよくあるパターンですが、雑談が上手な人と下手な人には、話し方に特徴が見られます。

雑談が下手な人は、話題を広げて楽しめます。

もちろん話題を広げることも大切です。

Aの話題からBの話題になり、Bの話題からCの話題になる。

話が広がっていくのは、雑談の面白さの1つです。



しかし、雑談が下手な人の場合「話題を広げるしかできない」という問題があります。

関連した流れで話題が広がっていくのはいいですが、広げるしかできないのではつまらない。

雑談が表面的な話ばかりになり、深い話がありません。

つまり「広く浅く」という状態になります。

雑談を楽しんでいる割に、なかなか相手と仲が深まりません。

では、仲を深めるには、どんな話し方が必要なのか。

それは「話題を深める」という話し方です。

雑談が上手な人は、話題を広げるだけでなく、深めることもできます。

たとえば、自分の仕事について話をしたとします。

悩みの話からストレスの話、ストレスの話から気分転換の話へ変わるのは、横に向かった広がり方です。

この話題を、横に広げるのではなく、縦に深めます。

悩みの話から性格の話、性格の話から生まれ育った環境の話へと、どんどん縦に深めます。

1つの話題を、深く掘り下げていく。

このとき、普段ではできない深い話ができるようになります。

話題を深めると、自然と相手の本音やプライベートに入り込むことにもなります。

話題を深めていくと、結果として、相手とも深い仲になっていくのです。

話題を広げるのもいいですが、時には深めることも大切です。

話題を深めるとは、仲を深めることでもあるのです。

雑談が上手な人と下手な人の違い その22

雑談の話題は、広げるだけでなく、深めていく。